

トイレトレーニングⅠ

トイレトレーニングのポイントをつかもう！



☆夜のおむつは？

昼間のおむつがはずれたからといって、夜もはずれるとは限りません。寝ている間におしっこを濃くして量を減らす「抗利尿ホルモン」の分泌が多くなるということと、寝ている間にできるおしっこを朝までためておけるだけ膀胱が大きくなるということの2つの機能がうまく発達するとおねしょが徐々になくなり、自然にとれるものです。

発達には個人差があります。おねしょ卒業の3原則「叱らず・起こさず・あせらず」子どもの成長を待ちましょう。

夜のおむつをはずすのは、朝までおしっこをためておけるようになってからにしましょう。



八千代市イメージキャラクター「やっち」

トイレトレーニングをする前に生活リズムを考えてみよう！

☆ 規則正しい生活リズムがつくられると、体の生理的なリズムや情緒が安定します。早起き・早寝・食事の時間を決めることも大切です。

始める前に、次の3つを確認してみよう！

ひとりで歩ける



足腰がしっかりして便器に座れる。

おしっこの間隔



膀胱におしっこがためられるようになり、おしっこの間隔が2～3時間くらいになる。

気持ちを伝えられる



言葉やジェスチャーでおしっこを教えられる。

トイレトレーニングは雰囲気づくりも大切！

- ☆ タオルやマットは明るい色や楽しい絵柄に、楽しいカレンダーや好きな絵を貼ってみましょう。
- ☆ さわらせたくない物は手の届かない所へ置きましょう。
- ☆ お子さんが不安にならないように「ママみたいにトイレに行っておしっこをしてみようか」など話しかけて誘ってみましょう。



成功のコツは？

- ☆ うまくできたら、たくさんほめましょう。
- ☆ ママは笑顔で！失敗しても叱らないようにしましょう。
- ☆ なかなかうまくいかなければ、時間をおいて、再スタートしてみるのもよいかもしれません。
- ☆ 「あせらず」「怒らず」「子どものペースにあわせる」が秘訣です。しつけではなく、子どもをサポートしてあげる。そんな、ゆったりした気持ちで進めましょう。

トイレトレーニングを始めてみましょう

ステップ 1

トイレやおまるに慣れましょう。

- ・ 朝起きたとき、食事の前、出かける前など(1日に2～3回)おしっこに誘ってみましょう。
- ・ 成功したらほめてあげましょう。
- ・ おしっこが出るまで長い時間座らせることはやめましょう。初めは「試してみる」という気持ちで進めてみましょう。

ステップ 2

トイレで成功することが多くなってきたら、パンツにしてみましょう。

- ・ まずは、1日の中で時間に余裕があるとき、子どもに負担がかからないように短い時間でやってみましょう。ただしお昼寝中はおむつにしましょう。
- ・ 成功することが多くなってきたら、パンツで過ごす時間を徐々に延ばしていきましょう。
- ・ お昼寝中もほとんどぬれていないようであれば、パンツにしてみましょう。